

国際バカロレアの 大学入試における活用について

文部科学省大臣官房国際課



国際バカロレア（IB）について

国際バカロレアとは

- 国際バカロレア（IB）とは、課題論文、批判的思考や探究等の特色的なカリキュラム、双方向・協働型授業により、グローバル化に対応した素養・能力を育成する教育プログラム。国際バカロレア機構の提供の下、世界160以上の国・地域の約5,800校で実施（2024年7月現在）。
- 高校レベルのディプロマ・プログラム（DP）では、**国際的に通用する大学入学資格（IB資格）が取得可能**であり、世界の大学入学者選抜で広く活用。幼稚園、小学校、中学校レベルのプログラムを含め、我が国のグローバル人材育成等に資する。
- 我が国では、**IB認定校等を2022年度までに200校以上**にする目標を各種政策文書で掲げ、国内普及を行った結果、**2023年3月時点で207校が認定校等**となり目標を達成した。（2024年3月末現在241校）2023年度以降は、**IB導入の課題や効果等を可視化するための調査研究や好事例等の収集**を行い、その成果を広く発信することで、IBの導入や活用の検討を促す。

【国際バカロレアの学習者像】

探究する人 私たちは、好奇心を育み、探究し研究するスキルを身につけます。ひとりで学んだり、他の人々と共に学んだりします。熱意をもって学び、学ぶ喜びを生涯を通じてもち続けます。	心を開く人 私たちは、自己の文化と個人的な経験の真価を正しく受け止めると同時に、他の人々の価値観や伝統の真価もまた正しく受け止めます。多様な視点を求め、価値を見出し、その経験を糧に成長しようと努めます。
知識のある人 私たちは、概念的な理解を深めて活用し、幅広い知識を探究します。地域社会やグローバル社会の重要な課題や考えに取り組みます。	思いやりのある人 私たちは、思いやりと共感、そして尊重の精神を示します。人の役に立ち、他の人々の生活や私たちを取り巻く世界を良くするために行動します。
考える人 私たちは、複雑な問題を分析し、責任ある行動をとるために、批判的かつ創造的に考えるスキルを活用します。率先して理性的で倫理的な判断を下します。	挑戦する人 私たちは、不確実な事態に対し、熟慮と決断力をもって向き合います。ひとりで、または協力して新しい考えや方法を探究します。挑戦と変化に対して、機知に富んだ方法で快活に取り組みます。
コミュニケーションができる人 私たちは、複数の言語やさまざまな方法を用いて、自信をもって創造的に自分自身を表現します。他の人々や他の集団のものの見方に注意深く耳を傾け、効果的に協力し合います。	バランスのとれた人 私たちは、自分自身や他の人々の幸福にとって、私たちの生を構成する知性、身体、心のバランスをとることが大切だと理解しています。また、私たちが他の人々や、私たちが住むこの世界と相互に依存していることを認識しています。
信念をもつ人 私たちは、誠実かつ正直に、公正な考えと強い正義感をもって行動します。そして、あらゆる人々がもつ尊厳と権利を尊重して行動します。私たちは、自分自身の行動とそれに伴う結果に責任をもちます。	振り返りができる人 私たちは、世界について、そして自分の考えや経験について、深く考察します。自分自身の学びと成長を促すため、自分の長所と短所を理解するよう努めます。

【国際バカロレアの教育プログラム】

- ◆ **ディプロマ・プログラム(DP)** 
⇒16～19歳を対象とした2年間のプログラム。主に高校で導入
- ◆ **ミドル・イヤーズ・プログラム(MYP)** 
⇒11～16歳を対象とした5年間のプログラム。主に中学校で導入
- ◆ **プライマリー・イヤーズ・プログラム(PYP)** 
⇒3～12歳を対象とした5年間のプログラム。主に幼稚園、小学校で導入

cf. キャリア関連プログラム（CP）【日本での導入校はなし】
16～19歳を対象としたキャリア教育・職業教育に関連したプログラム

IB導入の効果

①グローバル人材育成

- ✓ 幅広い知識の**探究スキル**、**課題発見・解決能力**、**コミュニケーション能力**等を育成
- ✓ 国際的な視野を持ち、将来の社会課題に対応するグローバル人材を育成

②初等中等教育の質の向上

- ✓ 学習指導要領に示されている「主体的・対話的で深い学び」等、**IBと日本の教育政策との高い親和性**
- ✓ **主体的な学び**を通じた全人教育により、初等中等教育の好事例を形成

③国際的通用性

- ✓ IB資格を活用した**国内外への進路の多様化**
（DPのスコアを**海外大学の受験に活用可能**（学力試験の免除等）となる 等）
- ✓ 国内大学でのIB入試導入により、海外のIB生を呼び込み、国内の**大学の国際化・活性化**



（参考）IB生の授業風景
◎市立札幌開成中等教育学校

国際バカロレア認定校一覧（令和6年3月末時点）

北海道

- ※札幌日本大学高等学校
- ※市立札幌開成中等教育学校
- 認定こども園あいの里

宮城県

- ※秀光中学校
- ※仙台育英学園高等学校
- 東北インターナショナルスクール
- ホライゾンジャパンインターナショナルスクール仙台泉校
- ※ホライゾン学園仙台小学校
- ※宮城県仙台二華高等学校

茨城県

- ※開智望小学校・中等教育学校
- つくばインターナショナルスクール
- ※茗溪学園高等学校

群馬県

- ※ぐんま国際アカデミー中等部・高等部

埼玉県

- ※浦和学院高等学校
- カルガモイングリッシュスクール
- ※さいたま市立大宮国際中等教育学校
- ※昌平中学校・高等学校
- ※筑波大学附属坂戸高等学校

東京都

- アオバジャパン・インターナショナルスクール
- アオバジャパン・バイリンガルブリスクール芝浦
- アオバジャパン・バイリンガルブリスクール中野
- アオバジャパン・バイリンガルブリスクール晴海
- アオバジャパン・バイリンガルブリスクール三鷹
- アオバジャパン・バイリンガルブリスクール早稲田
- インディア・インターナショナルスクール・イン・ジャパン
- ウィローブルックインターナショナルスクール
- ※開智日本橋学園中学・高等学校
- カナディアン・インターナショナルスクール
- グローバルインディアンインターナショナルスクール東京
- ケイ・インターナショナルスクール東京
- サイシヤインターナショナルスクール
- サマーヒルインターナショナルスクール
- シナガワインターナショナルスクール
- 清泉インターナショナルスクール
- セント・メリーズ・インターナショナルスクール
- ※玉川学園中学部・高等部

東京都

- 東京インターナショナルスクール
- 東京ウエストインターナショナルスクール
- ※東京学芸大学附属大泉小学校
- ※東京学芸大学附属国際中等教育学校
- ※東京都立国際高等学校
- ※町田こばと幼稚園
- みずほスクール
- ※武蔵野大学附属千代田高等学院
- 代々木インターナショナルスクール

神奈川県

- ※神奈川県立横浜国際高等学校
- キッズ大陸フロンタウン生田園
- サンモール・インターナショナルスクール
- ※聖ヨゼフ学園小学校・中学校
- ※法政大学国際高等学校
- ホライゾンジャパン・インターナショナルスクール
- ※三浦学苑高等学校
- ※やまた幼稚園
- 横浜インターナショナルスクール

山梨県

- ※山梨学院幼・小・高等学校
- ※山梨県立甲府西高等学校

長野県

- ※インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢
- インターナショナルスクールオブ長野
- ※グリーン・ヒルズ小学校
- ※松本国際高等学校
- ※若草幼稚園

岐阜県

- ※サニーサイドインターナショナルスクール
- ※帝京大学可児高等学校

静岡県

- ※エンゼル幼稚園
- ※加藤学園暁秀中学校・高等学校
- ※静岡サレジオ幼・小・中・高等学校
- ※聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園
- ※聖隷クリストファー小学校

愛知県

- アップビート・インターナショナルスクール
- 江西インターナショナルスクール
- ※国際高等学校
- 名古屋インターナショナルスクール
- ※名古屋国際中学校
- ※名古屋国際高等学校

滋賀県

- ※滋賀県立虎姫高等学校

京都府

- 京都インターナショナルスクール
- 同志社インターナショナルスクール国際部
- ※同志社国際学院初等部
- ※立命館宇治高等学校

大阪府

- アブロード・インターナショナルスクール大阪
- ※大阪教育大学附属池田中学校
- ※大阪国際高等学校
- ※大阪女学院高等学校
- ※大阪府立水都国際高等学校
- 大阪YMCAインターナショナルスクール
- 関西学院大阪インターナショナルスクール
- ※近畿大学附属高等学校
- コリア国際学園

兵庫県

- ※AIE国際高等学校
- カネディアン・アカデミー
- 関西国際学園
- 神戸ドイツ学院
- マリット国際学校

奈良県

- ※育英西中学校

鳥取県

- ※鳥取県立倉吉東高等学校

岡山県

- ※朝日塾中等教育学校
- アブロード・インターナショナルスクール岡山
- ※岡山理科大学附属高等学校

広島県

- AIC国際学院広島初等部
- ※AICJ高等学校
- ※英数学館小学校・高等学校
- つきのひかり国際保育園
- 広島インターナショナルスクール
- ※広島県立広島叡智学園中学校・高等学校

高知県

- ※香美市立大宮小学校
- ※香美市立香北中学校
- ※高知県立高知国際中学校・高等学校

福岡県

- 福岡インターナショナルスクール
- ※福岡第一高等学校
- ※リンデンホールスクール中高学部

熊本県

- 熊本インターナショナルスクール

鹿児島県

- ※鹿児島修学館中学校

沖縄県

- オキナワインターナショナルスクール（沖縄国際学院高等専修学校）
- ※沖縄尚学高等学校

（参考）

- 国際バカロレア認定校等数：241校
- プログラム別内訳
- PYP（幼稚園、小学校相当）
- 認定校 63校 候補校 46校
- MYP（中学校相当）
- 認定校 39校 候補校 16校
- DP（高等学校相当）
- 認定校 68校 候補校 8校
- CP（高等学校相当）
- 認定校 0校 候補校 1校

（凡例）

- ：公立IB校の所在都道府県
- （二重丸）：デュアルランゲージ・ディプロマ・プログラム（DLDP）実施校 35校
- ：国私立IB校の所在都道府県
- ※：学校教育法第1条に定める学校（いわゆる1条校）84校（プログラム数）
- 青字：国公立IB校

大学入学者選抜における国際バカロレア活用の効果

世界共通の大学入学資格である国際バカロレアを活用することで

- ✓ 国内でIB教育を受けたグローバル人材として
国際社会に貢献できる学生の受入れ
 - ✓ 世界各国からの優秀な学生の受入れ
- 等

の効果が期待され、大学の国際化が促進される。

国際バカロレアを活用した大学入試

全学部実施（39大学）		一部学部実施（39大学）	
【国立】 <u>筑波大学</u> <u>お茶の水女子大学</u> <u>東京医科歯科大学</u> <u>東京外国語大学</u> <u>東京学芸大学</u> <u>金沢大学</u> <u>名古屋大学</u> <u>京都工芸繊維大学</u> <u>岡山大学</u> <u>香川大学</u> <u>九州工業大学</u> <u>鹿児島大学</u> 【公立】 <u>国際教養大学</u> <u>会津大学</u> <u>横浜市立大学</u> <u>叡啓大学</u> 【私立】 <u>東北福祉大学</u> <u>浦和大学</u> <u>開智国際大学</u>	<u>工学院大学</u> <u>国際基督教大学</u> <u>芝浦工業大学</u> <u>多摩美術大学</u> <u>東京都市大学</u> <u>東洋大学</u> <u>日本獣医生命科学大学</u> <u>日本体育大学</u> <u>ビジネス・ブレークスルー大学</u> <u>中京大学</u> <u>名古屋商科大学</u> <u>豊田工業大学</u> <u>京都外国語大学</u> <u>同志社大学</u> <u>関西学院大学</u> <u>神戸女学院大学</u> <u>倉敷芸術科学大学</u> <u>西南学院大学</u> <u>福岡工業大学</u> <u>立命館アジア太平洋大学</u>	【国立】 <u>北海道大学</u> <u>東北大学</u> <u>秋田大学</u> <u>群馬大学</u> <u>東京藝術大学</u> <u>東京大学</u> <u>京都大学</u> <u>大阪大学</u> <u>広島大学</u> <u>高知大学</u> <u>九州大学</u> <u>長崎大学</u> <u>琉球大学</u> 【公立】 <u>東京都立大学</u> <u>都留文科大学</u> <u>大阪公立大学</u> <u>兵庫県立大学</u> 【私立】 <u>国際医療福祉大学</u> <u>東京国際大学</u>	<u>明海大学</u> <u>青山学院大学</u> <u>慶應義塾大学</u> <u>順天堂大学</u> <u>上智大学</u> <u>創価大学</u> <u>中央大学</u> <u>東京理科大学</u> <u>法政大学</u> <u>武蔵野大学</u> <u>明治学院大学</u> <u>明治大学</u> <u>立教大学</u> <u>早稲田大学</u> <u>愛知医科大学</u> <u>立命館大学</u> <u>関西医科大学</u> <u>関西大学</u> <u>近畿大学</u> <u>広島修道大学</u> 計78大学

【注・日本の学校の卒業生を対象としているものを記載（帰国生や留学生に対象を限定しているものを除く）。

・下線はIB資格取得者・取得予定者のみを対象とした入試を実施している大学。

・各大学へのアンケートに基づく調査結果（2024年1月時点）であるため、必ずしも全ての情報を網羅しているわけではない。

※筑波大学調べ（令和5年度文部科学省委託事業による）

(参考) 国際バカロレアを活用した大学入試

■ 海外における国際バカロレアを活用した入試

- 各大学のアドミッションポリシーに基づき入学者選抜が行われる。IBスコアのみで出願可能な大学、オンラインでの口頭試問を求める大学、英語力を示す試験結果の提出を求める大学等、様々な活用方法がある。
- 出願時期までに最終スコアが確定しない場合、学校は見込みスコア（predicted score）を付けて大学に提出し、大学は最終スコアの決定を以て合否を決定する（国内大学と同様）。
- 一定以上のスコアが得られている場合、大学における単位として取り扱うことや、2年次からの入学を許可することがある。

■ 国際バカロレアを活用した入試を実施する大学例

- ・スタンフォード大学（米、THE世界大学ランキング2024：2位）
- ・マサチューセッツ工科大学（米、THE世界大学ランキング2024：3位）
- ・ケンブリッジ大学（英、THE世界大学ランキング2024：5位）
- ・インペリアル・カレッジ・ロンドン（英、THE世界大学ランキング2024：8位）
- ・シンガポール国立大学（シンガポール、THE世界大学ランキング2024：19位）
- ・トロント大学（加、THE世界大学ランキング2024：21位）
- ・南洋理工大學（シンガポール、THE世界大学ランキング2024：32位）
- ・メルボルン大学（豪、THE世界大学ランキング2024：37位）
- ・ブリティッシュコロンビア大学（加、THE世界大学ランキング2024：41位）
- ・モナッシュ大学（加、THE世界大学ランキング2024：54位）

（出典） [Find countries and universities that admit IB students - International Baccalaureate® \(ibo.org\)](#)
[World University Rankings 2024 | Times Higher Education \(THE\)](#)

国際バカロレアの教育カリキュラム（DP）

ディプロマ・プログラム（DP）の履修形式

- コアの3科目は**必修**。その他の教科については、**各グループから原則1科目を選択**し、2年間で**計6科目**を履修（下表参照）。
- コア以外の各教科の科目には、上級レベル（HL：240時間程度）と標準レベル（SL：150時間程度）のカリキュラムが存在。選択可能な6科目のうち、**3～4科目はHLで、2～3科目はSLで履修**。
- 上記全てを履修し、**外部評価**（世界共通の試験による評価等）**及び内部評価**（各学校の教員による評価※¹）を通じて、**45点満点※²中原則24点以上**を獲得することで、**国際的に通用する大学入学資格（IB資格）を取得可能**。

※ 1 評価はIB機構による適正化が行われる

※ 2 配点はTOKとEEは最大3点の加点、各グループの教科は7点満点×6科目

	教科名	教科の概要（コア科目はすべて日本語DP校において、日本語での履修が可能）
コア （必修科目）	Extended Essay (EE) 課題論文	学習している科目に関連した研究課題を設定して自ら調査・研究を行い、論文としてまとめる（英語は4000語、日本語は8,000字）。
	Theory of Knowledge (TOK) 知の理論	学際的な観点から個々の学問分野の知識体系を学び、理性的な考え方や客観的精神を養う。さらに、言語・文化・伝統の多様性を認識し国際理解を深めて偏見や偏狭な考え方を正し、論理的思考力を育成する。最低100時間の学習。
	Creativity, Activity, Service (CAS) 創造・活動・奉仕	教室以外の広い社会で経験を積み、様々な人と共同作業することにより、協調性、思いやり、実践の大切さを学ぶ。
	グループ名	選択科目リスト（赤字は、日本語DP校において、日本語での履修が可能な科目）
（各グループから1科目選択）	1. 言語と文学（≒母国語）	言語A：文学、言語A：言語と文学、※文学と演劇（標準レベルのみ）
	2. 言語習得（≒外国語）	言語B、初級言語（標準レベルのみ）
	3. 個人と社会	地理、歴史、経済、ビジネスと経営、情報テクノロジーとグローバル社会、哲学、心理学、社会・文化人類学、世界の宗教（標準レベルのみ）、グローバル政治
	4. 理科	生物、化学、物理、コンピューター科学、デザインテクノロジー、スポーツ・エクササイズ・健康科学、※環境システムと社会
	5. 数学	数学：解析とアプローチ、数学：応用と解釈
	6. 芸術	音楽、美術、ダンス、フィルム、演劇

（※） なお、「文学と演劇」はグループ1と6の横断科目。「環境システムと社会」はグループ3と4の横断科目。

国際バカロレア校における教育カリキュラム編成

■ 学習指導要領における科目との対応関係について

- ▶ 学習指導要領に定める必履修教科・科目について、**下記の3要件を満たす場合、告示に規定する科目については学習指導要領の科目の履修等を行ったとみなす**ことが可能。
1. 高等学校学習指導要領に定める内容事項が適切に取り扱われていること。
 2. 生徒の発達の段階並びに内容の系統性及び体系性に配慮がなされていること。
 3. その他、生徒の転出入に対する配慮等の教育上必要な配慮がなされていること。
- ▶ 告示に規定する教科・科目については、**大学入学者選抜等において、IBDP科目の単位の修得をもって当該科目の単位の修得とみなす**など、**大学で適切に判断するよう要請（令和元年12月26日通知・令和2年3月30日通知・令和3年12月28日通知等）**。

学習指導要領との対応関係

国際バカロレア科目名	学習指導要領	国際バカロレア科目名	学習指導要領
ランゲージA：言語と文学	現代の国語、言語文化	ケミストリー	化学基礎
ランゲージA：文学	言語文化	バイオロジ	生物基礎
ジオグラフィー	地理総合	ミュージック	音楽Ⅰ
ヒストリー	歴史総合	ヴィジュアル・アーツ	美術Ⅰ
マセマティックス：アナリシス・アンド・アプローチズ	数学Ⅰ	ランゲージB	英語コミュニケーションⅠ
マセマティックス：アプリケーションズ・アンド・インタープリケーション	数学Ⅰ	セオリー・オブ・ナレッジ	総合的な探求の時間
フィジックス	物理基礎		

※必履修科目のみ抜粋。

国際バカロレア校における教育カリキュラム編成

■ 学習指導要領における科目との対応関係について

- ▶ 学習指導要領に定める必修教科・科目について、**下記の3要件を満たす場合、告示に規定する科目については学習指導要領の科目の履修等を行ったとみなす**ことが可能。
1. 高等学校学習指導要領に定める内容事項が適切に取り扱われていること。
 2. 生徒の発達の段階並びに内容の系統性及び体系性に配慮がなされていること。
 3. その他、生徒の転出入に対する配慮等の教育上必要な配慮がなされていること。
- ▶ 告示に規定する教科・科目については、**大学入学者選抜等において、IBDP科目の単位の修得をもって当該科目の単位の修得とみなす**など、**大学で適切に判断するよう要請（令和元年12月26日通知・令和2年3月30日通知・令和3年12月28日通知等）**。

学習指導要領との対応関係

国際バカロレア科目名	学習指導要領	国際バカロレア科目名	学習指導要領
ランゲージA：言語と文学	現代の国語、言語文化	ランゲージA：文学	言語文化
ジオグラフィー	地理総合	ヒストリー	歴史総合
マセマティックス：アナリシス・アンド・アプローチズ	数学Ⅰ	マセマティックス：アプリケーションズ・アンド・インタープリケーション	数学Ⅰ
フィジックス	物理基礎	ケミストリー	化学基礎
バイオロジ	生物基礎	ミュージック	音楽Ⅰ
ヴィジュアル・アーツ	美術Ⅰ	ランゲージB	英語コミュニケーションⅠ
セオリー・オブ・ナレッジ	総合的な探究の時間		

※必修科目のみ抜粋。

コンソーシアムのHP（一般ポータルサイト）



<https://ibconsortium.mext.go.jp/>

コンソーシアムのHPでは下記のような情報を発信しています。

- 国際バカロレア教育に関する一般的な基礎情報
- 国内のIB認定校等に関する情報
- IBを活用した大学入試に関する情報
- 国内におけるIBに関するイベント（公開授業、研究会等）等



コンソーシアムHP
QRコード